

健康友の会みみはら第37回総代会議案 2024年度の活動方針 ダイジェスト版

メイン
スローガン
中心テーマ

友の会結成40周年の年！10万人の組織実現に向けて、 「健康づくり」は「人づくり」を合言葉に取り組みをすすめよう！

2024年度の重点課題

1

「友の会結成40周年」にふさわしく、 全ての取り組みを成功させ 仲間の輪をひろげます

- 職員をはじめ多くの人に「友の会」を「知らせる」「体験」してもらうことを重視します。
- 「健康づくり」や「フレイル予防」をテーマにした取り組みを引き続きすすめます。
- 働く世代、子育て世代など、世代別・テーマ別の企画、多世代交流が出来る企画などを計画し、職員を講師にした「友の会出前講座」を積極的に開催して、多世代にわたる健康づくりをひろげます。
 - ・さらに工夫をこらし新しいテーマも取り入れて取り組みます。
- 「健康チェック」活動をあらためて重視し、特定健診・がん検診をはじめとした健康診断の受診目標をもってひろげます。
 - ・受診のお誘いだけでなく、結果フォローも事業所と協力して「友の会」らしい取り組みとします。

2

支部を単位に取り組みを強め、 ブロックでの連携を さらにすすめます

- 「担い手ふやし」を最重要課題と位置づけ、「荷を分かち合う」役割分担をすすめます。
- ブロック・支部を単位に、地域要求に根差した取り組みをグループの職員とともにすすめます。
 - ・地域の「拠点づくり」をすすめ、「街並みチェック」で地域の実情と要求把握に取り組みます。
- 「コロナ禍」を経験しての新たな「友の家」「班」「サークル」活動を、創意工夫してすすめます。
 - ・あらゆる世代の「願い（思い）」に見合った「多世代型」「複合型」の班会開催をめざします。
- 「支部ふやし・支部づくり」は、2,000世帯を超える大規模支部の分割と空白地域での支部づくりにチャレンジします。
- 「つながり」をひろげ、2,100人の仲間ふやしにチャレンジし、「10万人の友の会」を実現します。
- 「協同基金」は、件数目標20,000件・金額目標26,800万円とします。
- 「担い手ふやし」では、友の会とみみはらグループの事業を「知らせる」ことを重視した企画を開催し、とも配達者・行事ボランティア・助っ人など、多彩な「担い手」をイメージして、1,200人を目標に「友の会大好き会員（人間）ふやし」・後継者づくりをすすめます。
- 「いつでも元気」は、各支部・職場での活用を工夫し、1,000部の普及をめざします。
- 共同組織拡大強化月間（10月～11月）に向け、9月の全国共同組織活動交流会へ積極的に参加します。
- 「とも」の配達者ふやしと紙面の充実をさらにすすめます。
- 「20部を超えたら配達者さがし」を合言葉に、1,000名の配達者ふやしに取り組みます。
- 「配達者交流会（懇親会）」などをブロック・支部単位で計画し、配達者の交流を通じてネットワークづくりをすすめます。

3

「ふれあい・支え合いのまちづくり」 活動を支部・ブロック単位で ひろげます

- 「つながりを絶やさない・ゆるやかな安心のネットワーク」を身近な範囲でひろげます。
- 「お元気ですか対話・訪問」に引き続き取り組みます。
- 「お元気ですか対話・訪問」を通して、無料低額診療事業や健診受診の紹介・普及に取り組みます。
- 支部は、地域の困難な方への「相談窓口」になれるよう、くらしの制度や認知症（予防）などの学習会を計画し、表面化しにくい「困った」にも気づき寄り添える力をつけるようにします。
 - ・各種「相談窓口」についても「ネットワーク一覧」などを作成し分かりやすく紹介しやすくします。
- 「友の家」・「センター」に地域の人が気軽に足が運べるようにするため、早急に「コロナ禍」前の活動状態に戻すとともに、開所日数をふやします。
- 「助け合い活動」では、NPO法人結いの会ともうずへの参加・協力を軸に、介護事業所や自治会などとも連携し、助け合いのネットワークを強化します。
- 地域の自治会・団体と共同しての「ゆるい（ゆるやかな）つながり」をさらにひろげます。

4

憲法をくらしに生かし、 誰もが健康で安心して住み続けられる まちづくりをすすめます

- 「いのち」と「人権」が大切にされる国・自治体を実現するための取り組みをすすめます。
- 社会保障や医療・介護体制の問題などを地域・団体とも協力して学び、一人ひとりが大切にされる社会・まちづくりに向けての取り組みをすすめます。
- 医療・介護・福祉の制度充実とともに、職員確保の課題も積極的に参加・協力していきます。
- 新興感染症をはじめ、地震や災害にもつよい「安心して住み続けられるまちづくり」に向けた取り組みをすすめます。

5

地域・自治体と連携し、 みみはらグループの医療・介護・福祉の 安心のネットワークをさらにひろげます

- みみはらグループと力を合わせ、地域とともに「無差別平等の地域包括ケア」づくりをすすめます。
- 鳳クリニックをはじめとした鳳エリアの建て替え、大仙エリアの高齢者施設・「地域コミュニティ棟」建設、高石診療所施設活用の運動を力を合わせて成功させます。
- 事業所や「センター」「友の家」の無い地域での拠点づくりに向け、あらためて「街並みチェック」に取り組みます。また、地域訪問や懇談会などを積極的に開催し、取り組みをひろく知らせます。
- 「みみはら2030年の樹」構想実現に向け、みみはらグループ職員と一緒に行動・参加する場を積極的につくります。
- 「友の会結成40周年」を機に、これまでの取り組みをふり返し、「これからの友の会」について考えます。